

記入例

電気工事業開始届出書

× 整理番号	
× 受理年月日	年 月 日

日付は、提出する日を記入すること。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

愛媛県 中予地方局長 様

・個人の場合、住所と氏名のみ記入すること。
 住所 松山市一番町四丁目 4 番地 2
 氏名 事業主 愛媛 太郎
 ・住所は、登記簿謄本又は住民票どおりに記載すること。

住 所 松山市一番町四丁目 4 番地 2
 氏名又は名称 株式会社 愛媛電気設備工事
 法人にあっては
 代表者の氏名 代表取締役 愛媛 太郎

電気工事業を開始しましたので、電気工事業の業務の適正化に関する法律第 34 条第 4 項の規定により、次のとお

年月日は、建設業許可有効期間の初日を記入すること。

- 1 建設業法第 3 条第 1 項の規定による許可を受けた年月日及び許可番号
 平成〇〇年〇〇月〇〇日 愛媛県知事許可（般・特一〇〇）第〇〇号
- 2 電気工事業を開始した年月日
 平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 3 営業所等

年月日は、建設業許可有効期間の初日を記入すること。

営業所の名称	所在の場所	電気工事の種類	主任電気工事等の氏名	電気工事士免状の種類及び交付番号
株式会社 愛媛電気設備工事	松山市一番町 四丁目 4 番地 2	一般用電気工作物 自家用電気工作物	松山 一郎	第〇種電気工事士免状 愛媛県第〇〇〇号

・実際に電気工事の作業の管理を行う店舗を記入すること。
 ・個人で屋号がある場合は屋号を記入すること。

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 ×印の項は、記載しないこと。
- 3 電気工事の種類欄には、「一般用電気工作物」又は「自家用電気工作物」を記載すること。
- 4 主任電気工事士等の氏名欄には、その者が法第 19 条第 2 項に該当する場合にあっては、※印を付すること。
- 5 自家用電気工作物に係る電気工事のみを行っている営業所については、主任電気工事士等の氏名欄及び電気工事士免状の種類及び交付番号の欄には記載することを要しない。